

館報

行事
モリモリ



11月号

No. 823

令和6年
(2024年)

やまがた



150年目に駆ける期待の星

赤堀 早紀さん（上竹田）

今年度より新卒で企画振興課に配属された赤堀さん。現在は開村150周年記念事業や広報やまがたの編集などに従事しています。「150周年という節目に、この課で記念事業に携われたのは本当に運が良かった」と話してくださいました。

大学時代から実習や館報編集部員、じゃんぷろなどを通じて村のさまざまな活動に関わっており、その経験が今の仕事にも生かされているといいます。「日頃から村民の皆さんや職員と接する機会も多く、今の業務にとっても魅力を感じています」と話し、入庁に誇りを抱いているようです。

（11月3日 じゃんぷろまつりにて）

働人
姿



開村150周年 記念碑除幕式・記念式典

10月22日(火)、爽やかな晴天に恵まれたこの日、山形村は150年の節目を迎えました。役場には多くの来賓が訪れ、白布に覆われた記念碑の除幕の瞬間を穏やかに待っています。本庄利昭村長から「山形村の新しい資産として大切に管理していきます」と祝辞と抱負の挨拶があり、会場の高揚感が高まってきました。記念碑の揮毫は、今年の

漢字でお馴染みの北法相宗音羽山清水寺の森清範貫主によるもので、式典には京都・清水寺執事の

大西英玄さんが森貫主の名代として出席されました。いよいよ

除幕の瞬間。関係者が紅白紐を引くと、白御影石に美しい『永』の文字が刻まれてい

ました。この際、大西さんから、真実はたくさんあることのお話があり、伝え方や支え

合いの大切さが説かれました。また、記念碑設置に尽力された

山形清水絆会の小林政幸会長(小坂)は「永

は筆文字の要素が全てであることから、永遠という意味とともに、村に関する全ての要素を含んでいる相応しい字だと思う。そして、長く水の問題に悩んできた村であり、『水』が中に含まれていることは嬉しい」と万感の思いを語ってくれました。



トレセンでの記念式典では、村内外から多くの祝辞が寄せられ、村の発展や地域活動に貢献した7個人、3団体の表彰が行われました。その後の祝賀会で、村長から「小さな村を進めていくためには、一人一役を担うことが大切だと思う」と挨拶があり、出席者は昔話から未来の展望まで話は尽きない様子です。この日は区切りと同時に村の新たな幕開けとなりました。

子どもチャレンジ広場

10月20日(日)、鷹の窪自然公園にて、山形村子ども会育成会による『チャレンジ広場』が行われました。少しぐずついた天気でしたが、6年ぶりに任命された小学生リーダーの指示のもと、大人子ども併せて30人以上の参加者がピザづくりや竹細工を楽しみました。保護者とともに参加した保育園児の宮沢昂さん(小坂)は、「午後のパウムクーヘンづくりが面白かった。切ったらちゃんと木のような模様になっていてよかったです」と話していました。



山形村日用品

11月3日(日)、ミラフード館前で1回目の山形村日用品が開催されました。

主催の小林聖也さん(下大池)は「村で活動しているお店ワークシヨップなどを知ってもらいたい。また、村民の皆さんの交流の場になれば。今は主催の自分一人だが、仲間を増やして世代を交代しながら10年先も続くものにした」と話されました。



山形村日用品の開催は毎月の第1日曜日(1月、2月は開催未定)です。

詳細は山形村日用品のInstagramで確認してください。

皆さんも是非お立ち寄りください。



山すそ

私は普段ほとんどテレビを見ませんが、先日テレビの電源を入れるとスタックドレスタイヤのコーナーが流れていました。映像を見ながら、「ああ、またこの季節がやってくるのか」と気持ち下がります。個人的ですが、年を重ねるごとに冬道の運転が疲れるようになってきたからです。数年前、上級国民と揶揄される方が起こした事故、記憶に残っている方も多いと思います。今は人の記憶に強く残るような事故のニュースがあふれており、それを見聞きする内に事故を起こしたくないという気持ち

が車を制御することに神経を使い疲れてしまうのかなと自己分析しています。制御がさらに難しくなる冬道はなおさらです。と、コーナーを見ながらなぜ運転が疲れるのか考えてしまいました。最近では毎朝灯油ストーブをつけています。灯油も1リットル100円超え、いつからだったか覚えていません。光熱費も上がり、冬は経費も掛かる。冬よ、嫌いになっちゃうぞ!

山形村 共育の日

10月26日(土)午後、山形小学校とトレーニングセンターにて、山形村共育の日イベントが開催されました。

山形村共育の日実行委員会が企画したもので、村内外から講師を招いて14講座のワークショップと展示発表が行われました。どの会場も満員で、子どもたちは講師の先生の話をよく聞いて、料理や作品を作ったり運動を楽しんだりしていました。

消しゴムハンコ作り講座に参加した5年生の高木湧依さん(上竹田)は、「消しゴムハンコはいろんなことができる。家でもたくさん作って、上達して講師の先生に追いつきたい」と話してくれました。



焼きいも大会・〇×クイズ福祉体験学習



手ごね石けん作り



水引ストラップ作り



マシュマロチョコ克蘭チ・チョコチップ蒸しパン作り



消しゴムハンコ作り



HIPHOPダンス教室



ニュースポーツ体験



おもしろ実験 モノづくり



簡単手芸



PC・タブレット講座



手作りギョウザ



ランプシェード作り



護身術・武道教室



秋のスペシャルおはなし会

合文化祭

・体育館 11月2日(土)、3日(日)

芸能発表

り、例年にはない楽しい企画も登場しまし
たが、国際交流をテーマとしてはじめて
つけた一般募集のモデルさんが、村内の理
イを緊張しながらウォーキングを披露す
天候も回復し、大勢の方が文化祭に訪れて、
た時間を過ごすことができました。



開村 150 周年記念ファッションショー



KID'S DANCE BOX



やまがた
彌磨太鼓



クレヨンママ



山形ジョイントハーモニカ



フラサークル



山形村民話クラブ「灯」



ぎょうがくりゅうにほんぎんどうかんやまがたどうじょう
暁岳流日本吟道館山形道場



鉢盛中学校合唱部



れいしんかい
玲心会



山形村音楽クラブ



たんぽぽコーラス



やまがたウィンドアンサンブル★



★♥合同演奏



山形小学校金管バンド♥

第74回 山形村総

トレーニングセンターふるさと大ホール

展示発表

第74回山形村総合文化祭は、村の開村150周年と重なり、1日目は季節外れの台風の影響で大雨に見舞われ、中止と行われたファッションショーでは、11ヶ国の衣装を身に付け、美容組合の方からメイクをしてもらい、手作りのランウェイといった手作り感あふれる企画もありました。2日目は、学びの発表を見たり聞いたり、子どもから大人まで充実した



みんなで作る150周年フォトスポット



山形小学校



山形村健康マージャン



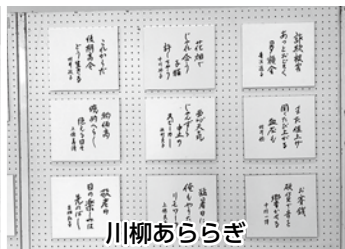
やまのこ保育園園児作品



山形保育園園児作品



鉢盛中学校美術部



川柳あららぎ



山形村俳句クラブ



ふれあい児童館



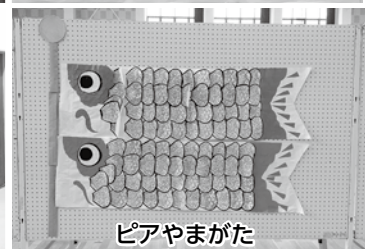
山形村防犯協会



山形村選挙管理委員会



鐘雲書道会 松本



ピアやまがた



山形村史談会



自然保護集団アクアの会



山形村エコライフを考える会



スマイルみどりん♪



図書館ワークショップ



三原色を楽しむ会



菊原郁哉さん



Yふるさとレンジャー隊

ハロウィンかぼちゃ作り

10月26日(土)、地域おこし協力隊主催の「ハロウィンかぼちゃ作り」が開催されました。

イベントでは、海老原隊員が育てた加工用かぼちゃをナイフやスプーンでくり抜き、自分だけのハロウィンかぼちゃを作りました。子どもたちはフェルトを貼ったり顔を描いたりして、夢中で作業に取り組んでいました。

楽しい作業の後は、子ども食堂「キッチンとつこ」さんが提供する特製ランチをいただきました。スパイスから作られた「ごぼうつこカレー」は、お子さまにも食べやすい優しい味わいで、皆さんから「おかわり！」の聲が響く人気ぶりでした。さつまいものサラダや地元のりんごも添えられ、旬の美味しさを堪能できる温かいひとときとなりました。



すくすくまつり

子育て支援センター10周年を記念して、10月18日(金)に「すくすくまつり」が開催されました。

会場はハロウィンモチーフでにぎやかに飾り付けられ、最初に行われたバブリン先生のシャボン玉ショーでは、部屋いっぱいにひろがるシャボン玉に子どもたちは大興奮！シャボン玉はどんどこ割ってOK、はさみやハンガーなど身近だけれど意外なものでもシャボン玉を作ったり、シャボン玉に入ったの撮影会があったりと参加型で楽しめるショーでした。

ショーが終わると、館内に用意されたおばけバスやフォトブース、いたずらおばけのピロピロ笛の工作などのコーナーを巡り、来館者はハロウィンの雰囲気たっぷりのおまつりを満喫していました。



山小PTA

特別音楽鑑賞会

10月12日(土)、山形小学校体育館にてPTA特別音楽鑑賞会が開催されました。東京から佐藤秀徳さん、Momさん、相川瞳さんのプロの演奏家3名をお招きして、フリーゲルホルンとピアノとヴィブラフォンの演奏を聴きました。

家族と聴きにきていた山小6年生の百瀬紘奈さん(下竹田)は「自分も金管バンドでトランペットを吹いています、プロのフリーゲルホルンの響きは大きくなめらかで聴きやすかったです。ヴィブラフォンのパーカッション、ピアノもとても素敵な音で、すごく楽しい時間になりました」と話していました。



上竹田分館バスハイク

く名古屋港水族館

好天の10月20日(日)、上竹田分館バスハイクが行われ、「子どもたちの行けなかった社会科見学、大人たちのあの頃に戻り社会科見学」のもと、参加者70名がバス2台に分乗して名古屋港水族館を目指しました。

県境に差しかかると、県歌「信濃の国」を6番まで合唱し、水族館では大水槽のイルカ・シャチに魅了され、旅のサブタイトルに違わぬものとなりました。



山形小学校へお米が

贈呈されました

10月10日(木)、黒川堰の水で育ち収穫されたお米60kgが黒川堰土地改良区理事長の上條重幸さん(上竹田)から山形小学校へ贈呈されました。黒川堰の水と米の勉強をしている、4年生の給食委員が代表で受け取りました。上條さんは、「米不足があったが、届けられてよかった、みんなでなかよく元気に食べてほしい」と話されました。受け取った児童の代表は、

「苦労して作ってくれた人のお米を給食で食べるのが楽しみです」と話していました。



おめでた字・題

吉澤 絆 淳太 小坂 恵里奈
佐々木月乃 優也 上竹田 美与子

おくやみ

上條 恒宜・88歳・上竹田

いど、全国大会へ！

第4回 極真 全日本ジュニアファイナルカップ

～ずっと続けたい、楽しいです～

かけはし まき
梯 蒔さん（上竹田）



好きな食べ物は、「ハンバーグとピーマンの肉詰め」



7月14日(日)に長野市で開かれたNST杯長野県空手道選手権大会幼児の部で優勝し、来年3月1日に横浜で開催される第4回 極真 全日本ジュニアファイナルカップへの出場を決めた梯蒔さん(山形保育園年長)にお話を伺いました。

空手は小学校高学年のいところ習っていたことがきっかけではじめて、1年前から松本市笹賀の極真空手武居道場に通っているとのこと、現在、帯の色はオレンジ色です。「得意技はかかと落とし、大会は楽しかった」と物おじしない様子で話す蒔さんを横目に、お母さんからは「大会では、防具を着けて試合に臨むのですが、初めて試合に出たときは、(観ていて)しんどかったです」と、最初は複雑な心境だったそう。

その場で『かかと落とし』を実演していただき、驚くほどの速さで振りおろされる足の鋭さは年齢を忘れさせるものでした。これからも続けるのかな?の問いには「ずっと続けたい、楽しいから」と元気に答えてくれました。年明け3月の大会での健闘を祈ります。



かかと落とし

じやんぷろまつり

11月3日(日)、ふれあい公園にて「じやんぷろまつり」が開催されました。総合文化祭と同時開催で、チラシを使つた間違い探しやロードペイント、うちわ作り体験など、子どもから大人まで楽しんでいられる様子が見られました。今回のイベントは、8月に台風で中止となった夏まつり「やまがたじやんぷろ」のリベンジとしてじやんぷろが企画したものです。従来ならば2日間の予定でしたが、1日目は再び台風の影響で中止となりました。じやんぷろと合わせて2回連続で台風に見舞われた形ですが、2日目は晴天となり、無事開催にこぎつけました。

チラシの間違い探しでは、じやんぷろで使えなかったガチャガチャを活用し、従来のうちわイベントから一新させて来場者を楽しませていました。計10カ所にあるダミーチラシから全10個の間違いを探し、見つけた数に応じてガチャが引けるルールです。最後の1個がなかなか見つからない時には、じやんぷろメンバーにヒントを求める姿も。じやんぷろの大池杏奈さん(高1・上大池)は、「すごく楽しかった。1日目の中止が逆に2日目の楽しさに繋がったと思う」と満足げに語ってくれました。



じやんぷろまつりは大盛況で幕を閉じましたが、「両日開催できたらもつと盛り上がりたかった」との声も聞かれました。また、じやんぷろとしても本来の「やまがたじやんぷろ」でイベントを実現したかったという思いが強く、「来年こそは」と意気込みが高まっているようです。今回の経験や来場者の反応を糧に、来年はさらに充実したイベントが期待されます。



また、ロードペイントは一般ゾーンと鉢盛中美術部のゾーンに分けられており、自由に描ける一般ゾーンにはカラフルな絵があふれていました。一方、美術部の1・2年生9人で制作したのは、宙に浮いているように見えるじゅうたんのトリックアート。完成後はフोटスポットとしても人気で、チョークで彩られた道路は、いつまでも残しておきたいほどの力作でした。

開村
150周年
記念

山形村そばと道祖神めぐり ロゲイニング



10月19日(土)、観光協会主催の第2回ロゲイニングが開催されました。山形村ふれあいドームがスタートとゴールの拠点となり、39組98人がエントリー。村内から1／3、県外村外からの参加者が2／3の割合でした。

開会式で赤羽孝之副村長から「150周年の年に村の魅力を再発見してほしい。素晴らしい1日を」と挨拶があり、午前10時から競技開始。メインの道祖神めぐりと、そばを食べると高得点の『そばボナス』を柱に、新要素としてりんご、白ヒラタケ、落花生、ごぼうの4種の収穫体験や、山形村検定のクイズ、四ツ谷の天神様へ絵馬の奉納、秘密のキーワード探し、川柳をつくろうなどが盛り込まれていました。この日は天候が崩れる予報で、畑に出向く人は少数派になりましたが、収穫体験全制覇を親子チーム1組が達成。道祖神19カ所制覇を4チームが達成。秘密のキーワード『じゃんずらのはなび』を7チームが解読。そばを12杯食べたチームもあり、表彰式で会場を沸かせていました。新聞広告を見て松本市から



天神様



参加した男女ペアのチーム『g & e』は「前からロゲイニングをやってみたかった」と、こちらも楽しみにしていたというそばの食事中に答えてくれました。

部門別に上位3チームには賞状と副賞のぶどうが贈呈され、参加者からは「一風変わったロゲイニングで楽しかった」と笑顔が見られました。村の魅力は伝わったかな？



チーム『g&e』



告知板

公民館講座のお知らせ

12月も魅力的な公民館講座がいっぱい！その一部をご紹介します。気軽にご参加ください。

● 楽しいタロット占い入門

～覗いてみよう！不思議なタロットの世界！～

日 時：12月13日(金) 18:00～

場 所：トレセン 若いたまり場

その他：費用なし、持ち物なし

● チャレンジ！クリスマススイーツ作り

内 容：ムースやパイをクリスマス風にアレンジします。

日 時：12月22日(日) 13:00～

場 所：トレセン調理室

その他：ホームページよりご確認ください。

その他講座や詳細・申し込みはホームページから
(QRよりホームページを開覧できます)



【館報やまがたへの情報提供募集中】

—身近な情報・感想をお寄せください！

フォーム 右のQRコードを読み取ってください。

電話 山形村公民館 ☎0263-98-3155



CHALLENGE

チャリカン！
10月号の答え

15この違い見つけられた？



祝・開村150周年！

山形村公民館報『館報やまがた』No823 11月号 令和6年11月発行

編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷／カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見ることができます→

